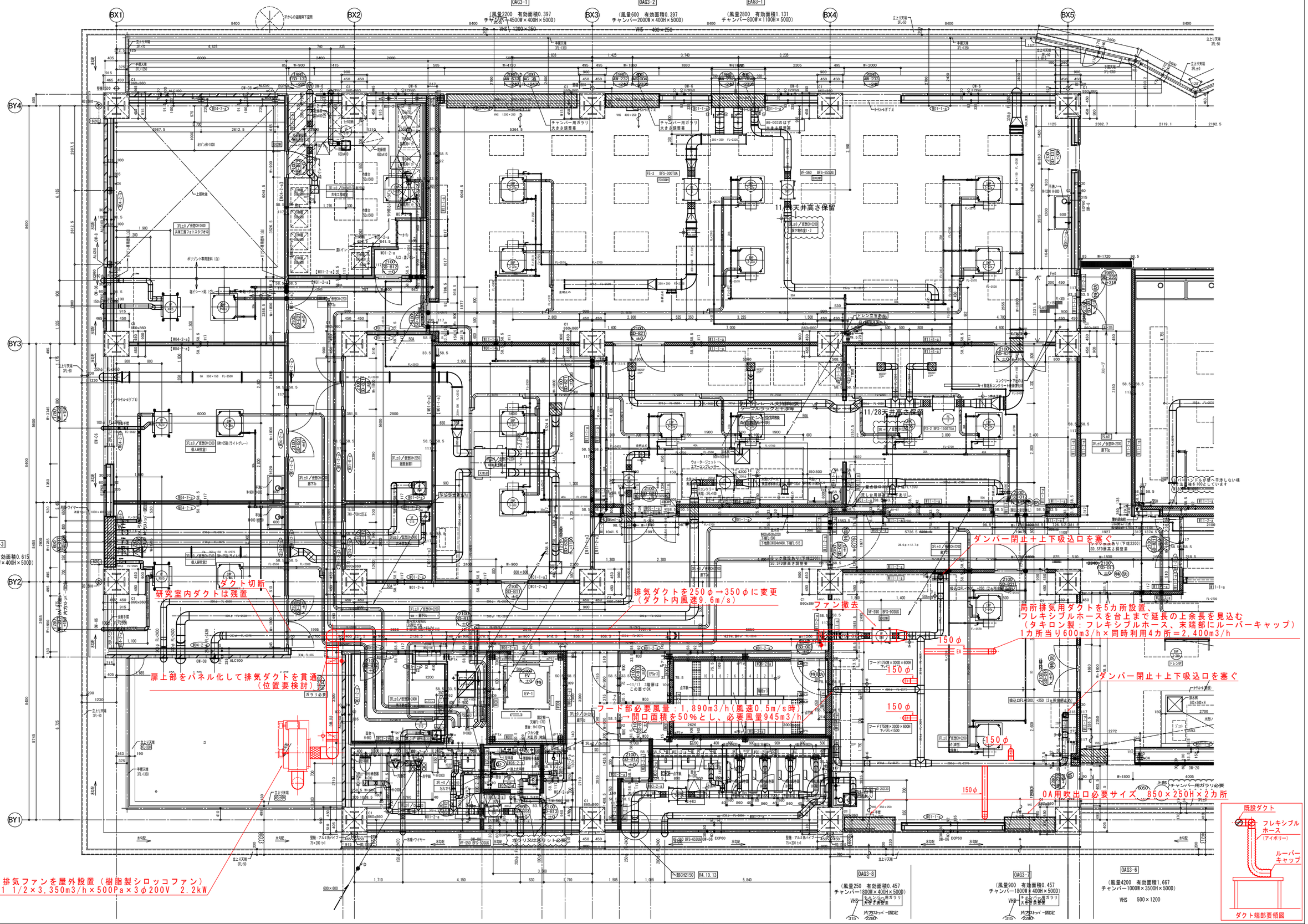
OAG3-1
（風量2200　有効面積0.397
チャンバー450W×400H×500D）
OAG3-2
（風量600　有効面積0.397
チャンバー2000W×400H×500D）
EAG3-1
（風量2800　有効面積1.131
チャンバー800W×1100H×500D）
EAG3-3
（風量1350　有効面積0.615
チャンバー1800W×400H×500D）
OAG3-8
（風量250　有効面積0.457
チャンバー1800W×400H×500D）
OAG3-7
（風量900　有効面積0.457
チャンバー1800W×400H×500D）
OAG3-6
（風量4200　有効面積1.667
チャンバー1000W×3500H×500D）
11/28天井高さ保留
ダクト切断
研究室内ダクトは残置
排気ダクトを250φ→350φに変更
（ダクト内風速9.6m/s）
ファン撤去
ダンパー閉止＋上下吸込口を塞ぐ
局所排気用ダクトを5カ所設置、
フレキシブルホースを台上まで延長の上余長を見込む
（タキロン製：フレキシブルホース、末端部にルーバーキャップ）
1カ所当り600m3/h×同時利用4カ所＝2,400m3/h
扉上部をパネル化して排気ダクトを貫通
（位置要検討）
フード部必要風量：1,890m3/h（風速0.5m/s時）
→開口面積を50%とし、必要風量945m3/h
0A用吹出口必要サイズ　850×250H×2カ所
排気ファンを屋外設置（樹脂製シロッコファン）
#1 1/2×3,350m3/h×500Pa×3φ200V　2.2kW
既設ダクト
フレキシブルホース
（アイボリー）
ルーバーキャップ
ダクト端部要領図
工事名称
京都市立芸術大学移転整備工事
ただし、B地区空調衛生設備工事
3階空調施工図（1）
1/60